

地域密着型金融の取組状況

(2 4 年 4 月 ~ 2 5 年 3 月)



地域密着型金融の推進方針	1
2 4 年度の取組概要	
新たな取組み	2
3 つの重点項目	3
具体的な取組状況	
お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮	4 ~ 7
地域の面的再生への積極的な参画	8 ~ 9
地域やご利用のお客様に対する積極的な情報発信	1 0

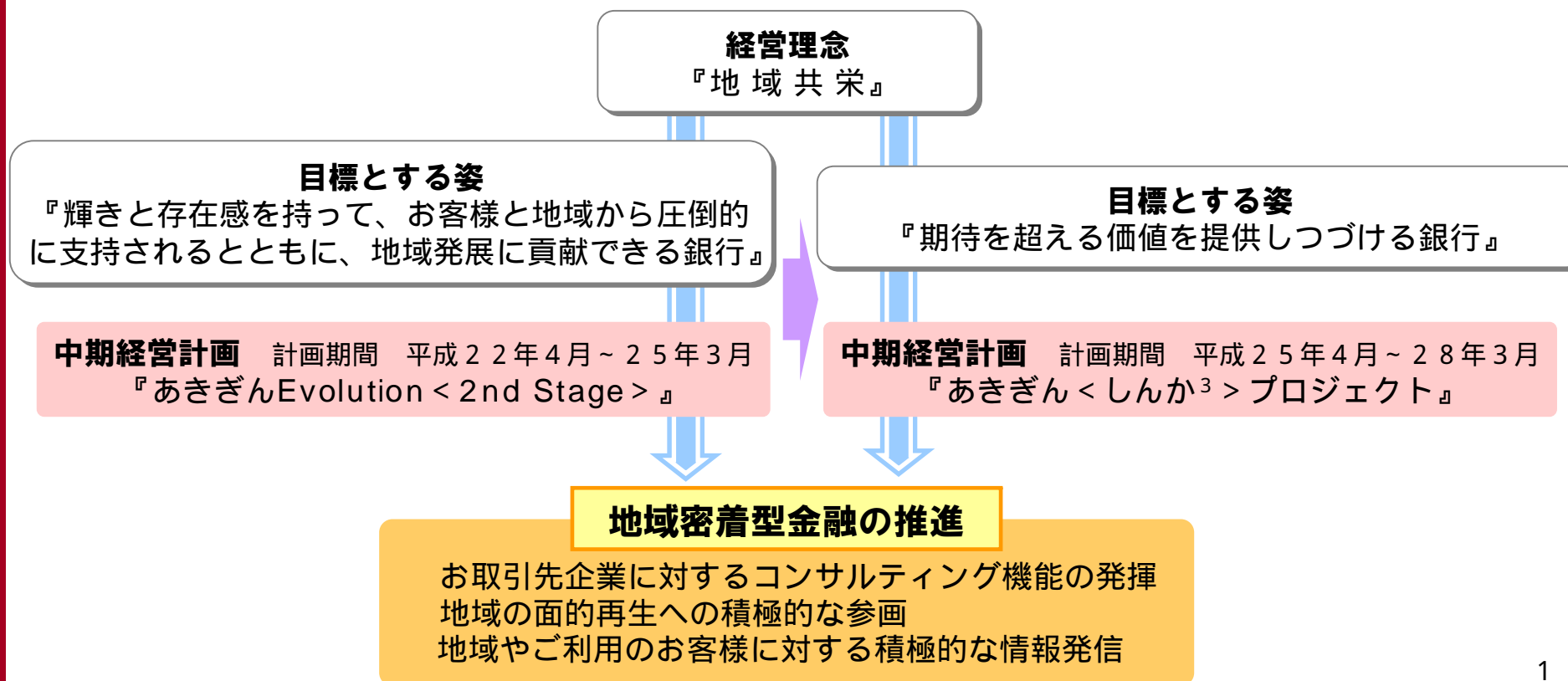
地域密着型金融の推進方針

当行は、「地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える」という「地域共栄」の経営理念のもと、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

また、「輝きと存在感を持って、お客様と地域から圧倒的に支持されるとともに、地域発展に貢献できる銀行」を目標とする姿に掲げ、中期経営計画「あきぎんEvolution<2nd Stage>」（22年4月～25年3月）を策定し、各種施策に取り組んでまいりました。

25年4月からは、新たな中期経営計画「あきぎん<しんか³>プロジェクト」を策定し、お客様や地域からの「期待を超える価値を提供しつづける銀行」を目指して、各種施策に取り組んでおります。

当行では、こうした「経営理念」および「目標とする姿」を実現するための取組みを通じて、地域密着型金融の一層の深化をはかり、地域経済・地域社会の発展に貢献してまいります。



24年度の取組概要 ~ 新たな取組み

■ 地域密着型金融 推進・連携態勢の充実

当行では、これまでも独自のネットワークや提携業務などを活用し、お取引先企業に対するソリューション営業を推進してまいりました。24年度は、さらなる連携態勢の充実をはかり、コンサルティング機能の発揮に努めました。



■ 地域密着型金融 重点項目ごとの取組概要（24年度）

● お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先企業と目線を合わせ、当行独自のネットワークや地域情報を活用しながら、お取引先企業それぞれの課題やニーズ、ステージに合わせた提案力の向上に努めました。

創業・新規事業展開、販路拡大、海外取引など事業拡大に向けた支援に加え、単なる金融支援に留まらない経営改善・事業再生に向けた支援に取り組み、お取引先の企業力向上を目指しました。

● 地域の面的再生への積極的な参加

秋田県内の地域資源を最大限活用し、県産品の知名度向上、販路拡大および新たなブランドの育成などに取り組みました。

また、地域経済の成長が期待できる分野に対する金融支援に取り組みました。

● 地域やご利用のお客様に対する積極的な情報発信

地域発展に向けた当行の取組みなどについて、地域やお客様にご理解を深めていただくため、各種セミナーや説明会の開催など、積極的な情報発信に努めました。

具体的な取組状況については次ページ以降をご覧ください。

■ お取引先企業の成長段階に応じた支援

● 創業・新事業支援

創業や新事業進出を検討されるお取引先企業に対して、事業性評価、資金調達、補助金の活用などに関する情報提供・アドバイスをはじめとする各種支援に取り組みました。

24年度の創業・新事業進出に関する融資商品の新規取扱実績は、**64件・5億円**となりました。

● ビジネスマッチング機会の提供

商談会の開催や個別商談の仲介によるビジネスマッチング機会の提供件数は、**127件**となりました。

24年度は23年度に引き続き海外商談会を香港において開催したほか、東京ビジネスサポートセンターを介し、首都圏企業や大手流通業者などとの商談をセッティングし、お取引先企業の販路拡大に貢献しました。

< 主な商談会ほか >

地銀フードセレクション2012	24年10月～東京
地産品ショップ「秋田のもの」	24年10月～東京
ものづくり企業フォーラム	25年 3月～秋田 (大館市)



香港フードエキスポ2012（24年8月）

● 海外取引に関するコンサルティング

海外展開をはかるお取引企業を支援するため三菱東京UFJ銀行および三菱UFJリサーチ&コンサルティングや、香港貿易発展局と業務提携をしているほか、24年5月に駐日インドネシア大使館と協同でインドネシア経済交流セミナーを開催しました。



インドネシア経済交流セミナー（24年5月）

24年度のコンサルティング先数は**45社**となり、お取引先企業の海外取引をサポートしました。

● 地域活性化支援ファンドの設立

当行では、地域経済の活性化を目的として、秋田県における新たな成長産業と期待される再生可能エネルギー分野への進出支援と、事業承継に長期間を要する事業者への支援を、主たる目的として、あきた地域活性化支援ファンド2号を、野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社と共同出資により設立しました。

当行では、当ファンドを活用し、「成長産業分野への新規参入」や「事業の円滑な承継」などに取り組んでいる県内事業者に対して支援を行い、「地域の発展」に貢献していくことを目指しております。

当ファンドの内容

名 称	投資事業有限会社責任組合 あきた地域活性化支援ファンド2号
出 資 金	総額5億円
出 資 者	当行および野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社
設 立 日	平成24年5月30日
投 資 対 象	秋田県内を中心とした当行の営業地域内で事業を営む企業や事業主体
投 資 手 法	株式取得による資金提供、プロジェクトファイナンス型の投融資

● 事業承継等への対応

お取引先企業が抱える事業承継等の課題に対して、自社株評価などを通じ、解決に向けた提案・支援に取り組みました。

24年度の事業承継・M&A提案実績は、**10件**となりました。

● ABL（動産担保融資）の取組み

お取引先企業の事業価値に着目した融資の一環として、原材料・商品在庫をはじめとしたABL（動産担保融資）への取組みを強化し、地域経済の活性化に努めております。

24年度末時点でのABL活用先は**2先**、融資枠は**92百万円**となりました。

● 経営内容の改善

お取引先企業の経営改善計画の策定をサポートするとともに、経営改善計画の進捗状況のモニタリングおよびフォローを通じて、債務者区分のランクアップ（＝経営改善）に取り組みました。

24年度の債務者区分のランクアップ先数は、**39先**となりました。

■ 事業再生支援

● 中小企業再生支援協議会の活用

事業再生については、当行の各営業店と審査部内の「企業経営支援室」が連携のうえ、お取引先企業と協力しながら取り組んでおります。また、必要に応じて外部機関を活用することにより、再生の実現性を高めております。

24年度は、**33先**について中小企業再生支援協議会へ相談を持ち込み、**24先**で実際に再生計画を策定いたしました。

● 新たなスキームの活用

事業再生支援にあたっては、上記ABLのほか、DDS（デット・デット・スワップ）などの新たなスキームも活用し、コンサルティング機能の一層の発揮に努めております。

24年度DDS実績は、**1件**、**420百万円**となりました。

24年度当初からの経営改善支援取組み先の推移

【24年4月～25年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先 α	(単位:先数)			経営改善支援 取組み率 = α/A	
			αのうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数 β	αのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 γ	αのうち再生計画 を策定した先数 δ		
正常先 ①	9,541	2		2	1	0.0%	
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	2,460	138	29	105	96	5.6%
	うち要管理先 ③	4	1	1	0	1	25.0%
破綻懸念先 ④	618	50	9	37	31	8.1%	
実質破綻先 ⑤	212	11	0	11	4	5.2%	
破綻先 ⑥	67	1	0	1	0	1.5%	
小計(②～⑥の計)	3,361	201	39	154	132	6.0%	
合計	12,902	203	39	156	133	1.6%	

24年度中に新たに取引を開始した取引先については、本表に含みません。

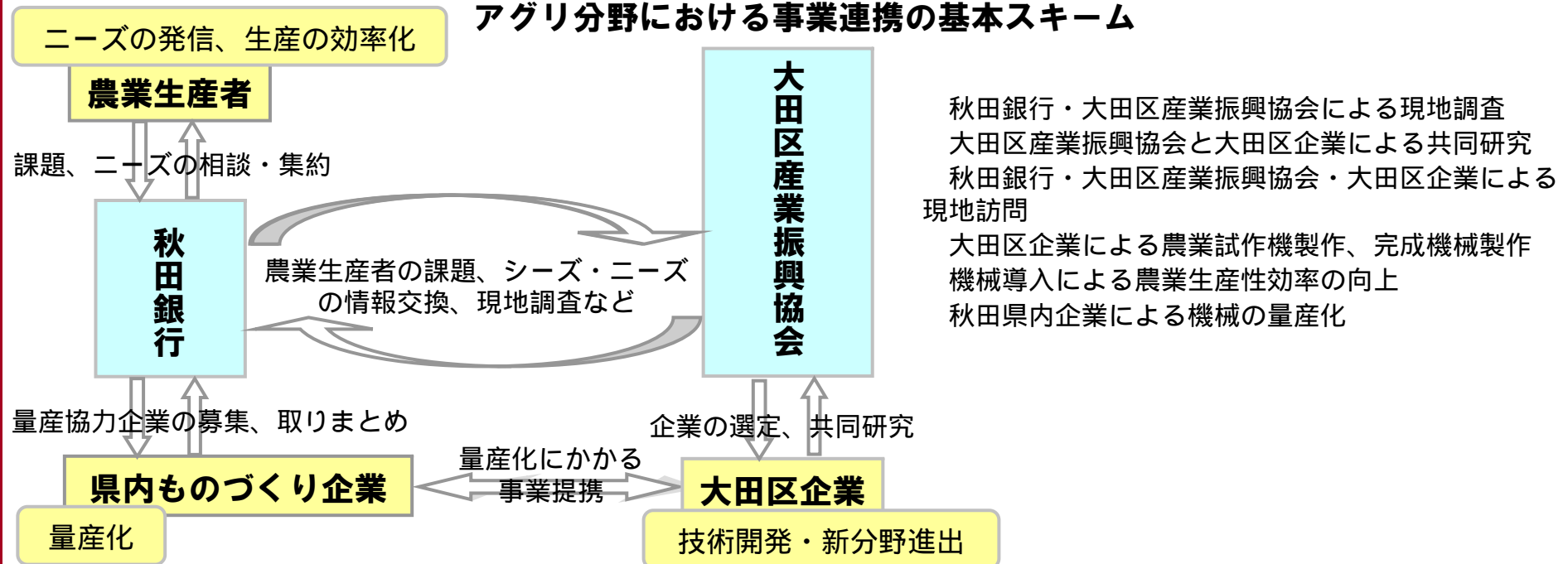
■ 産業の育成

● アグリビジネス分野におけるサポート機能の強化

当行と公益財団法人大田区産業振興協会（ ）は、秋田県内の産業育成と地域活性化を目的として、24年10月に「包括的業務協力協定」を締結しました。

この協定による具体的な支援としては、大田区の製造業者が有する技術を活用した、県内の農林水産業者が抱える課題解決のための技術開発や、開発された機械を量産化する際の、技術開発した大田区の製造業者と秋田県内製造業者とのマッチングなどを想定しています。

アグリ分野における事業連携の基本スキーム



() 公益財団法人大田区産業振興協会

高度な技術の集積を誇る大田区産業をより発展させるために、構造的変化に柔軟に対応できる支援機関として、大田区100%出資のもと平成7年10月に設立された。新しいニーズに即応した生産や取引のあり方を求める企業に対し、情報サービスや交流の場を提供するなどの支援を積極的に行っている機関である。

● あきぎん成長支援ファンド

日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給制度」を活用し、総額を300億円とする「あきぎん成長支援ファンド」を22年9月に組成しております。これは、地域経済の成長が期待できる分野への金融支援（ご融資・私募債引受）であり、環境・エネルギー事業など19分野を対象に取り組みました。

24年度の新規取扱実績は、**63件・33億円**、ファンド組成からの取扱累計は、**199件・222億円**となりました。

「あきぎん成長支援ファンド」対象19分野

環境・エネルギー事業	アジア諸国等における投資・事業展開	住宅ストック化支援事業
医療・介護・健康関連事業	大学・研究機関における投資・事業展開	防災対策事業
地域再生・都市再生事業	社会インフラ整備・高度化	雇用支援・人材育成事業
農林水産業、農商工連携事業	資源確保・開発事業	保育・育児事業
研究開発	高齢者向け事業	製造業（電子部品・デバイス関連、輸送機器関連、食品加工関連など）
起業	コンテンツ・クリエイティブ事業	
事業再編	観光事業	

■ 情報発信

● あきぎん経営説明会

決算状況、経営内容のほか、地域発展に向けた当行の取組みなどについて地域やお客様にご理解を深めていただくため、秋田県内各地において説明会を開催しております。

24年度は、6か所において開催し696名のお客様にご参加いただきました。



● CSRへの取組み

当行の地域発展に向けた取組みについて、より多くのお客様にお伝えするため、平成24年10月の当行ホームページリニューアルに際し、CSRへの取組みをまとめたページを開設しました。

CSRへの取組み

秋田銀行は、「地域とともに歩み、地域の発展とともに築く」という「地域共栄」の経営理念のもと、環境保全活動、文化活動、スポーツ振興、次世代の人材育成など、さまざまな分野での地域貢献に努めております。当行では、地域の持続的発展に通じるこうした活動を幅広くCSRと位置づけ、積極的な取組みを推進してまいります。



▶ CSRレポート

CSRに対する当行の考え方や具体的な取組みは、「[秋田銀行CSRレポート創刊号](#)」にてご紹介しております。

▶ インターンシップ

「次世代を担う若年者の育成支援」を目的に、就業体験機会を提供するインターンシップ制度の拡充をはかります。平成24年度インターンシップ情報を公開いたしました。みなさんのご応募お待ちしております。

▶ 環境保全活動

「あきぎんエコ宣言」のもと、環境問題に積極的に取り組んでおります。

▶ 金融経済教育

「親子でチャレンジ！あきぎんワクワク探検隊」
「エコ/ミクス甲子園」
「出張授業・銀行見学」

▶ (あきぎん)女子バスケットボール部

地域貢献活動の一環としてバスケットボールクリニックを開催しております。